

2025 年度 日本分析化学会九州支部 幹事会 議事録 (案)

日時：令和 7 年 10 月 31 日 (金) 12：45～

場所：佐賀県立九州シンクロトン光研究センター (〒841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘 8 丁目 7 番地)

1. 2025 年度支部事業経過報告および予定

1) 九州分析化学若手の会 第 38 回若手研究講演会および第 43 回夏季セミナー (世話人 石井)

石井先生より第 38 回若手研究講演会および第 43 回夏季セミナーについて開催の報告があった。

2) 2025 年度九州分析化学奨励賞 (選考委員長 森) p. 6

井倉支部長より九州分析化学会賞、九州分析化学奨励賞の審査結果について報告があった。

3) 第 62 回化学関連支部合同九州大会 (庶務幹事 椿) p. 9

井倉支部長より第 62 回化学関連支部合同九州大会の報告があった。来年度は 2026 年 6 月 27 日 (土) に電気化学会担当で開催される。

4) 機器分析ワークショップ (常任幹事 松尾) \*

今年度は実施されていない。

5) 第 63 回分析化学講習会 (実行委員長 井上) p. 10

井上先生より第 63 回分析化学講習会の開催について、報告があった。次年度の第 64 回第一回実行委員会は会計年度内の 2 月末に開催する。

2. 2025 年度支部会計中間報告 (支部長 井倉) p. 17

井倉支部長より 2025 年度支部会計中間報告があった。

3. 本部・支部連絡会議 (支部長 井倉) p. 18

井倉支部長より本部・支部連絡会議について、下記の通り報告があった。

- 会費値上げ (正会員費 ¥9,000→¥11,000) に関して説明があった。
- 支部費の配布額について、40 万円程度増額される。
- 役員選出フローや賞審査フローの変更が検討されている。
- 各支部・研究懇談会の旅費支給は支部長や委員長の判断となっているが、会員に対してはできるだけ支払わないように通達がなされている。

4. 理事会報告 (理事 井上・加地) p. 24

井上先生より下記のとおり報告があった。

- 会費の値上げや支部配布額について、もともと理事会で議論がされていたことについて十分に周知されていないために、本部・支部連絡会議で案内があった。
- 分析化学会の会員が減少している。
- 愛媛の討論会の開催報告が上がってきているので、次年度討論会の参考としてほしい。
- 直近で決まっている本部の年会・討論会の運営マニュアル（プログラムの編成方針や謝金、旅費などの支給）について説明がなされた。

高椋先生より次回・次々回(2027-2028の委員)年会・分析化学討論会運営委員について、議論がなされた。

- 高椋先生と大平先生（総務担当）の二人が同時に交代すると厳しいので1人が残るのが良いのではないか。
- 交代は井上先生が入るのが良いのでは。
- 2031年の年会にて実行委員長や総務をする方を想定しておく方が良いのでは、継続的にされている方と引き継いでいく方がコンビを組むのがよいのでは。
- 2025/11/25の会議までには、取りまとめる必要があり、継続議論を行う。

その他

- 個人会員の退会は、幹事のリストの変更が必要である。また、会員停止資格者リストをもとに会費支払いを促していただきたい。

## 5. 各誌編集委員会

### 1) Analytical Sciences（編集委員 梅木） p.112

特集号の企画があるので、積極的に投稿してほしい。

### 2) 分析化学（編集委員 森）\*

特に報告なし。

### 3) ぶんせき（編集委員 高橋）\*

九州支部の支部だより（1月末締切）。支部の受賞者に寄稿してもらうのが良いとの議論があり、九州支部は次年度から記事をお願いすることになる。

## 6. その他

### 1) 共催・協賛事業（庶務幹事 椿）

特に報告なし。

議題

### 1. 2026年度支部事業計画案（支部長 井倉、庶務幹事 椿、世話人 江藤） p.126

- 第63回化学関連支部合同九州大会の依頼講演者の選定依頼が近くある予定。

- 江藤先生より第 39 回若手研究講演会および第 44 回夏季セミナーについて、準備状況が報告された。宿泊は個人で手配の形式を踏襲する。可能な限り大分市内の宿泊としてもらいたい。

## 2. 2026 年度支部予算案（支部長 井倉） p. 129

井倉支部長より 2026 年度支部の予算案について報告があった。

- 次年度繰越金が大きくなっており、若手の会の助成金（夏季セミナー 現在は 35 万円）を増やしてはとの提案がなされた。
- 石井先生より今年の企画では会場費がなかったが、来年以降は会場費などもかかり MICE の支援などを検討しており、支援があると良いのではとの意見がなされた。特に地方で開催する場合は、良いのではとの意見が出ている。
- 吉田次期支部長より、来年度の配布額も増えるので、若手の方に配分してよいのではとなった。50 万円としてよいとなった。
- 講習会がかなりプラスの収益となり積みあがってきている。他に、若手のサポートで北海道支部への出張などへの支援も検討しては良いのではないか。
- 緑陰セミナーへの支援は 10 万円を本体から支援することとなった。
- その他に、人件費（支援者）などを出してもよいのでは。九州支部として会計を担当する人を雇用してもよいのではと提案があった。

## 3. 支部役員の変更（庶務幹事 椿） p. 130

- 次期庶務幹事および会計幹事として高田誠先生（福岡大学）と古賀先生（福岡大学）の幹事への就任が認められた。
- 佐賀大学から新居浜工専にご移動された真瀬田先生について幹事を退任されることが認められた。次年度の討論会の実行委員は継続される。

## 4. 2026 年度支部・本部関係役員（支部長 井倉） p. 131

井倉支部長より 2026 年度支部本部関係役員について報告があった。

## 5. その他

### 1) 第 86 回日本分析化学会討論会（実行委員長 高椋） p. 132

高椋先生より第 86 回日本分析化学会討論会の紹介があった。